

東京都生協連

2010年度 ピースアクションinヒロシマ 報告

日程 8月5日(木)、6日(金)

参加 東京保健生協(23名)、東京葛飾医療生協(2名)、東京ほくと医療生協(7名)
全労済東京都本部(15名)、パルシステム東京(5名)、東京南部生協(2名)
東都生協(6名) 事務局 木村、笹岡、藤田 計63名



参加者63名の内、小学生6名、中学生3名、の参加がありました。また、9組の親子、東京保健生協からは若い職員の参加も多くあり、幅の広い年齢層の参加がありました。

初日は、「虹のひろば」への参加が途中からとなりましたが、秋葉忠利広島市長のメッセージ、元日本生協連会長の竹本成徳さんの被爆の証言や全国から集まった各生協の展示コーナーを見学し、核兵器廃絶の必要性をあらためて考える場となりました。

虹のひろば終了後は平和公園や市内のフィールドワークを行なった生協もありました。2日目は記念式典終了後から広島空港集合時間までの組み立ては各単協工夫を凝らし有意義に過ごしていました。

東京都生協連のヒロシマ行動のメイン企画でもある「被爆者の皆さんとの交流会」は、被爆者の方の高齢化が進む中、証言者の皆さんへの負担等も考慮し3グループに分れ行ないました。

目的

① 継承と創造

- ・ 被爆体験の継承として、これからにつなげていくために私たちの役割と私たちから発信できることを考えていきます。
- ・ 被爆から65年を経て国際世論が核軍縮へ歩みを進める中、核兵器のない未来を求める思いや、核兵器廃絶へ向けて各地の取り組みを共有します。

8月5日(火)

【虹のひろば】

日本生協連芳賀唯史専務理事の主催者挨拶がありました。また、秋葉忠利広島市長から5月に行われたNPT再検討会議を受けて世界が核兵器廃絶に向け、大きく動き出していること、この流れを確実なものにしていくために平和市長会議とともに多くの団体の協力の下、2020年までの核兵器廃絶を目指し「2020ビジョン」を展開、今後も核兵器廃絶に向けた世界的な気運を高めるために共に力を尽くし行動していきましょうとのメッセージがありました。



秋葉 忠利広島市長



竹本 成徳さん

被爆者の証言として「さいごのトマト ～ヒロシマを、わたし自身の『ことば』で～」と題し元日本生協連会長の竹本成徳さんからお話がありました。ご自身の被爆地や被爆直後に通った場所を辿ったDVDをはさんでのお話と竹本さんの著書である『さいごのトマト』に書かれた、若くして原爆で亡くなったお姉さんの体験は胸を締め付けられ、核廃絶のためにひとりひとりが出来ること、行動していくことの大切さを考えることにつながるお話でした。

第2部の「みんなのひろば」は、全国の生協や平和関連団体による出展ブースや広島の子どもたちが描いた平和の絵の展示コーナー、ビデオ上映コーナーなど多彩な催しがあり、それぞれのコーナーへの参加や、出展ブースでの交流がされました。



【虹のひろばに参加しての感想より】

- ・ 竹本さんの被爆証言は、竹本さんのその時の気持ちにふれる事で、改めて原爆の恐ろしさを知ることが出来た。
- ・ 「さいごのトマト」のお話は切ない愛と苦しみを感しました。
- ・ 各生協の平和活動を知ることで、平和に対する思いの強さが心に残った。
- ・ 子どもたちが参加しやすい工夫がされていて小さな頃から平和について考える機会があることはとてもよい事だとおもいました。
- ・ 「私のたから物」をやって家族の大切さがわかりました（子どもの感想より）。

【被爆者の皆さんとの交流】

3グループに分かれて、お話を聞きました。被爆者の方々は、当時の様子が少しでも分かりやすく伝わるようにと様々な準備をしてお話をしていただきました。



【被爆者の皆さんとの交流に参加しての感想より】

- ・ 一瞬にして昼が夜へ、熱風に包まれ、地獄絵図を思わせる状態の中に置かれたその驚きと苦痛ははかり知れないものであったろうことを身近に感じた。
- ・ 生き残った方と亡くなった方とは紙一重であった事。生きる可能性のあった「いのち」を多く失ったことを実感した。
- ・ いろいろなくなんをのりこえ、のじゅくではとてもくろうしたとおもうけれどいきのこれてよかったとおもいます（子どもの感想より）。
- ・ 日本の平和は尊い犠牲によってもたらされていることをこれからの人たちは認識をもっと強めないといけないと思いました。

【ピースアクション in ヒロシマに参加して】

- ・ 「平和」とは何か・・・深く考える2日間になった。
- ・ 原爆の恐ろしさを学んだ。たった一つの原爆が多くの人たちを苦しめ長年に渡って広島の人たちに暗い影を残してきたんだと思った。核兵器がなくなると、平和な世界にはならないと思う。
- ・ 本では分からないこと、沢山のことを知ることが出来ました。また、実際に見てこんな事は二度とあってはいけないと思いました。
- ・ 自由研究として写真やレポートにまとめます。クラスのお友達が少しでも何かを感じてくれたらと思います。



【全体を通してのご意見（アンケートより）】

- ・ 貴重な体験が出来ました。
- ・ この時期にヒロシマの地を訪れ、罪のない1人ひとりの身に何が起こったのか、今も苦しみや悲しみを抱えて生きる人のことを知りました。実際に、聞いて感じる事が出来て良かったです。
- ・ 虹のステージ、被爆者との交流で生の声を直接聞ける内容が多くあり、とても良かったです。